



しんねんど はじ がつねん ひと あ あら き も いちにちいちにち す こんねんど
新年度が始まりました。学年が一つ上がり、新たな気持ちで一日一日を過ごしていることでしょう。今年度も

いのちのたび博物館をよろしくお願ひします。



令和6年3月16日(土)～令和6年5月6日(月・振休)

はる とくべつてん 春の特別展 カラース 自然の色のふしぎ展 ぜっさんかいさいちゆう 絶賛開催中!!



あかいろ きいろ だいだいいろ
赤色・黄色・橙色



アカアママガエル (模型)



ホワイトタイガー (トラの白変)

「生きものの色」「生きるための色」「人の暮らしと自然の色」と大きく3つのテーマに分けて、自然の色の面白さを紹介しています。会場内、所狭しとカラフルな生きものたちが大集合!あなたもその目で実際の色を確かめてみませんか。

また、展示解説アプリ「ポケット学芸員」には、アプリでしか読めない、学芸員のマニアックな解説50選もあります。来館前には是非ダウンロードしてきてくださいね。

ダウンロードは
こちら



常設展のみ

	一般	団体
大人	600円	480円
高・大生	360円	280円
小・中生	240円	190円

特別展のみ

	一般	団体
大人	700円	560円
高・大生	500円	400円
小・中生	400円	320円

セット券(常設展+特別展)

	一般	団体
大人	1100円	900円
高・大生	800円	700円
小・中生	600円	500円

※ 団体は30名以上のお一人様料金です。



ミュージアムのタネ

身近な生き物を観察して区別する

わたしたちの身の回りには様々な生き物が生息しています。こうした生き物を区別するために、生物学者はそれぞれの生き物を分類します。

ハクセンシオマネキというカニを例に大まかに説明すると、甲殻亜門(=甲殻類)の中でも、十脚目というエビ・カニ・ヤドカリの大きなグループに含まれ、そこからさらに短尾下目(=カニの仲間)、スナガニ科、ハクセンシオマネキ属とだんだんと細かく区別され、そしてようやくハクセンシオマネキという種に分けられます。現在までに記載されている全ての生き物は、このように各分類階層ごとで共通の形の特徴を持つグループに振り分けられ、最終的にひとつの種として他の種と区別されます。



ハクセンシオマネキ

ただし形がよく似た種は専門家でもなかなか容易に区別することはできません。多くの場合、より細やかな形の違いでよく似た種も区別することはできるのですが、意外にも形以外の思いがけない特徴が種を見分ける鍵になることがあります。

ヤマトオサガニとヒメヤマトオサガニという2種のカニはとても似ており、かつては同じヤマトオサガニとされていました。

しかし、ある研究者が彼らの「行動」を観察すると、両者の違いに気づきました。彼らはどちらもハサミをリズムカルに振る「ウェービング」と呼ばれる行動をしますが、実はこのウェービングの仕方が両者で大きく異なります。ヤマトオサガニは2つのハサミを垂直に眼の高さまで上げるウェービングを行い、一方でヒメヤマトオサガニは眼の高さを通り



ヤマトオサガニ

越し、ちょうどバンザイをするような位置までハサミを上げます。この違いに気づいた研究者が丁寧に調べると、形の違いも見つかり、晴れてヒメヤマトオサガニが新種として記載されました。

自然史課学芸員 竹下文雄